

「神トマト」の商標登録とSNSを活用した情報発信で顧客拡大 白石農園(北斗市)



白石農園の皆さん

【組織等の概要】

- 代表：白石 裕昭
- 所在地：北斗市追分177
- 経営形態：水稲(2.9ha)、施設園芸(ビニールハウス14棟)、露地野菜の複合経営
- 栽培品目：米、トマト、ミニトマト、チコリー、レタス類、キャベツ、はくさい、ズッキーニ、だいこん、にんじん、長ねぎなど約30品目
- 労働力：本人、家族(6名)、パート最大5名、農福連携2~5名を雇用

◇【「神トマト」商標登録まで】

- ◆ 2009年7月、トマトで特別栽培農産物の認証取得
- ◆ 2019年4月、直売所開設
- ◆ 2020年4月、長男敏明氏が就農
- ◆ 2020年12月、「神トマト」の商標出願書類を敏明氏が作成・出願
- ◆ 2021年6月、商標登録

※「神トマト」は、品種「りんか409」、特徴は皮が薄く柔らかく、甘みと酸味のバランスが良く、果肉がジューシーである。

【取組の成果】

- SNSで情報発信を開始したことで、直売所を訪れるお客様が増加した。また、直接お客様の顔が見え、お客様の声も届き、これまで以上にやりがいを感じている。
- 固定客が増加し黒字へ転換(2022年)、クチコミによる更なる顧客増へつながっている。
- 「神トマト」を商標登録したことで、北斗市の「白石農園」を知ってもらう、広告塔になっている。

◇【情報発信アイテム】(取組主体は敏明氏)

◆ Instagram 「神トマト白石農園」

2019年11月発信開始

直売所の営業情報やイベント開催案内など、母ひとみ氏を中心に短い動画や画像で発信している。



◆ You Tube 「白石農園日記」

2020年4月発信開始

主に、敏明氏とひとみ氏が出演し、農作業、直売所の様子、家庭菜園の栽培方法のコツ、家族紹介、その他情報を発信している。



◆ インターネットを利用した販売サイト「白石農園」

2021年7月利用開始

神トマト、米(ふっくりんこ)、野菜セット、チコリーなどを販売している。



白石農園の看板



商標登録した「神トマト」

【今後の展望】

● 「神トマト」プレミアムの発売

現在、糖度8度以上を「神トマト」として販売しているが、今後は糖度9度以上を「神トマト」プレミアムとして差別化し販売したい。

● トマト加工食品の製造・販売(6次化)

生食販売に向かないトマトを、付加価値を付けたトマトソースやドライトマトなどの加工食品の製造にチャレンジしたい。